

当地域の景気動向

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました（2021年10月29日現在）。

①最近の管内総合経済動向（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

（9月公表要旨）

管内の経済活動は、緩やかに持ち直している。

- ・生産は、横ばいとなっている。（↓）
- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。（→）
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。（→）
- ・公共投資は、堅調に推移している。（→）
- ・住宅投資は、持ち直しの動きがみられる。（↑）
- ・輸出は、増加している。（→）
- ・雇用は、需給の緩和に引き締まりの動きがみられる。（→）

②愛知県の景気動向（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

（8月期要旨）

愛知県の経済は、景気動向指数（CI一致指数）は、改善を示している。

③中小企業景況調査（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/sanro/keikyo/top.htm>

（7～9月期要旨）

中小企業の景況感、足踏み

・業況判断、売上の各D.I.で前期実績を下回る・

④東海3県の金融経済動向（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

（9月公表要旨）

東海3県の景気は、持ち直しの動きが一服している。

⑤OKB景況指数（OKB総研）

<https://www.okb-kri.jp/cyousa/research.html>

（9月期調査要旨）

景気の水準：リーマンショック以来の低水準となった6月期調査から2期連続で上昇。

低水準ながら持ち直しの動きが続いている。

特に生産活動、個人消費が回復傾向にある。

景気の方角：自動車関連を中心に生産活動の回復を見込む中、足元では新型コロナ第3波が危惧され消費活動の先行きへの警戒感が再燃、弱気の見通しが続く。

以上